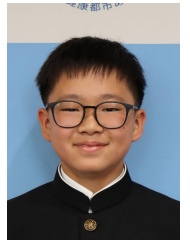


戦争の残酷さ

網走市立第五中学校 一年 佐々木 了(ささき りょう)



初日は、空港で全員と交流しました。少し緊張してしまいましたが、関わり合いを深めるうちに緊張がほぐれました。

北海道は涼しかったけれど、那覇空港に到着したときに、北と南の寒暖差を感じました。

到着後、ガリガリーおおしろに行きました。そこでサターアンダギーを作りました。サクサクしていて、3口くらいで食べられるホットケーキのような味がするお菓子でした。

ホテルでは荷解きをし、大浴場に入ったり、第三中学校の森下さんや、相部屋の厚木市の岩坂さんと同じく厚木市の子と交流しました。UNOやテレビなどを見たりして楽しい夜を過ごしました。

二日目は、残酷さを学んだり、糸満市長に質問・ワークショップをしたりしました。

まず、9時30分に平和記念資料にて、沖縄戦体験者講話で話してくださった久保田暁さんの話で、ひめゆりの生徒や、1歳から老人の方達、そして沖縄・他県から来た兵士達が多く亡くなっていることを知りました。

そして、その後中を見て思ったのは戦争中は水もなく、汚い物や死体が入っていた水でも飲むのを強要されたり、ずっと逃げ続けなければいけない環境で生きようとしても生きれない人たちがいたことに驚きを隠せませんでした。そして、戦時中の子供達の服を見て、とても今とは違い、爆風などでボロボロになってしまっていました。他の写真を見ても服はボロボロだったし、靴をはいていない子供達が多かったのに驚きました。

次に行った場所は、糸満市の市役所に行きました。市役所では厚木市の子や網走の人の質問をしました。自分は「歴史的な場所はどこですか。」という質問をしました。他にも、糸満市長表敬が終わった後に「ワークショップ」というのをし、自分たちの宣言をしました。

3日目は、美々ビーチでサバニ体験をしたり、ガラス村で体験をしました。まず、9時30分に海「美々ビーチ」に行き、右と左に分かれて漕ぐサバニをしました。かなり体力を削られましたが楽しかったです。その後にバナナボートに乗って綺麗な海を堪能しました。かなり海水が口に入ったりしましたが景色に比べれば全然大丈夫だったと思いました。その後には、クラゲが入れない区域で潜ったり、泳いだりして楽しかったです。その後に、A&Wのご飯を食べました。昼食はハンバーガーでとても美味しく、ほっぺが落ちそうぐらい美味しかったです。その後は、糸満市の子達とお別れ会をして、琉球ガラス村に行きました。とても綺麗なガラスがたくさん置いてあり、その価値に見合った値段をしていました。そこで体験もしました。自分は中くらいのコップで青い柄にしました。一から作ったわけじゃないけど、クオリティに感動しました。その後、道の駅「いとまん」に行き、色々な物を買ったり、見たりしました。夕食は焼き肉屋「ばんない」で食べ、特にカルビが美味しかったです。

最後の日は、瀬長島ウミカジテラスに行き、たくさんの絶景を撮ったり、たくさんの生き物を見ました。その後は飛行機に乗り、帰りました。